令和８年６月

専門学校福岡看護職大学校

令和７年度
学校評価結果報告書

専門学校福岡看護職大学校
学校長　藤川　秀幸

１．学校評価の目的

本校は、教育活動および学校運営の質の向上ならびに継続的な改善を図ることを目的として、「文部科学省　専修学校における学校評価ガイドライン」および「看護師等養成所の教育活動等に関する自己点検・自己評価指針」に基づき、自己点検・自己評価を実施した。本報告書は、その評価結果の概要を公表するものである。

２．評価の方法

本校では、教育理念、教育目標、教育課程、教授・学習・評価過程、経営・管理、入学、卒業・就業・進学、地域社会・学術交流および研究の９領域について自己点検・自己評価を実施した。

評価は、「３：当てはまる」「２：やや当てはまる」「１：当てはまらない」の３段階評価とし、評価結果を基に現状、課題および改善方策について検証を行った。

３．評価結果

（１）総合評価・・・【Ｂ評価】

令和７年度の自己点検・自己評価の結果、総合評価はＢ評価（達成率71.6%）であった。

教育活動および学校運営は概ね適切に実施されており、教育理念に基づく教育課程の運営、学生支援および教育環境の整備について一定の成果が認められた。一方で、教育課程評価の体系化、授業改善、教員間の連携強化および中長期的な学校運営体制の整備など、継続的な改善を要する事項も確認された。

（２）教育活動

教育理念および教育目標に基づき教育課程を編成し、シラバスに沿った授業運営を行うとともに、学生の学修成果の向上に努めた。また、講義・演習・技術教育を通じて看護実践能力の育成を図った。

（３）学生支援

担任制による個別指導を中心に、学習支援、生活支援、健康管理および進路支援を実施し、学生が安心して学修できる環境づくりに努めた。

（４）学校運営

教育活動を支える組織体制を整備し、教職員会議等を通じて情報共有および意思決定を行った。また、関係法令を遵守し、適正な学校運営に努めた。

（５）地域連携・社会貢献

行政機関および地域施設との連携、地域交流活動等を通じて地域貢献を推進するとともに、今後は地域連携を教育課程へより体系的に位置付けることを目指す。

４．今後の改善方針

自己点検･自己評価の結果を踏まえ、教育課程の改善、授業評価体制の充実、教員の教育力向上および教員の資質向上（FD 活動）の推進に取り組む。

また、PDCA サイクルに基づく継続的な改善を推進するとともに、中長期的な学校運営体制の整備、地域連携の強化および教育の質保証体制の充実を図り、質の高い看護師養成教育を推進し、地域社会から信頼される教育機関として、継続的な教育の質の向上に努めるものである。